

令和7年度 (宮城県立利府支援) 学校の研究概要 ～令和8年1月末現在～

運営委員氏名 ( 教諭 鴻野 美和子 )

研究テーマ	「児童生徒の実態に応じた指導・支援の充実を目指して」 ～一人一人の学びの姿を意識した事例研究を通して～
研究目標	児童生徒の資質・能力の育成を目指して、指導の根拠となる各教科等の目標・内容を押さえつつ、「児童生徒一人一人に育みたい資質・能力」、「指導で目指す具体的な学びの姿」を意識し、児童生徒一人一人の実態に応じた指導・支援について検討・考察をしていく。
研究内容・方法 研究計画等	○研究の内容 (1) 学習指導要領や中央教育審議会答申について、教員一人一人の理解を深め、研修の内容に基づき事例研究の方法を確認する。 (2) 各教科等の目標・内容を意識した指導計画から、「指導で目指す具体的な学びの姿」をイメージし、授業作りに生かす。 (3) 指導計画を基に、教員一人一人が事例研究を行う。(一人一事例) ○研究の方法 (1) 事例研究の進め方についての共通理解を深める。(7月14日) 学習指導要領を踏まえた事例研究の進め方について、職員間で共有する時間を設ける。 (2) 事例研究を実施する。(6月～12月) 個別の教育指導計画を活用しながら、学習指導要領を踏まえた目標を設定していく「エントリーシート」を基に計画・実践を行う。実践を行いながら、「話し合いシート」「事例研究実践報告書」を作成することで、児童生徒の変容から研究の成果や課題を検証していく。また、担任以外の教員が、メンターとして指導助言を行う。 (3) 教員間の学び合いの時間を設ける。(10月29日) 類似する実態や課題をもつ児童生徒の事例を取り上げた教員間で、考え方や指導法のアイディアなどの情報交換を行い、個々の取り組む事例研究に生かす。
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	今年度は、3年計画で進められる本研究の1年目に当たる。「児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援の充実」に向け、今年度は学習指導要領の目標や内容を意識し、実際の指導の中でどのような学びの姿を見せるのか、具体的にイメージをもちながら事例研究を進めてきた。また、情報交換会では現状(悩み)の共有やアイディアの情報交換、メンターから指導助言を受けるなどしてきた。研究成果として、一人一事例で研究を行い、エントリーシートを基に授業実践を積んできたことで、学習指導要領にある目指す資質・能力に児童生徒が近付いていくことが感じられた。また、情報交換会を行ったことで、多角的な考えを参考に実践を重ねることができ、実態に応じた指導・支援の充実が図られたと考える。年度末に記入していただいた報告書をまとめ、成果、課題を来年度につなげられるよう実施報告としてまとめる。